

PBIS

(Positive Behavioral Interventions and Supports)

科学的根拠に基づくポジティブな行動支援

導入の目的

最重点課題である「教室の落ち着いた雰囲気づくり」と「いじめ・トラブルへの組織的対応」を解決するための枠組みです。

概要

学校全体でポジティブな行動を育むためのシステムです。個人の経験則ではなく、科学的なアプローチを採用します。

具体的なアクションプラン：4つの柱

1.

期待される行動の明確化

「廊下は静かに歩く」など、望ましい行動をシンプルな言葉に集約し、校内に掲示して全員で共有。



2.

行動の指導とルーティン化

望ましい行動を、授業や生活の場面で具体的に教え、練習し、習慣化（ルーティン）させます。



3.

望ましい行動の承認

行動できた時に、すかさず具体的に褒める。ポジティブな文化を醸成し、行動を振り返る機会を創出。



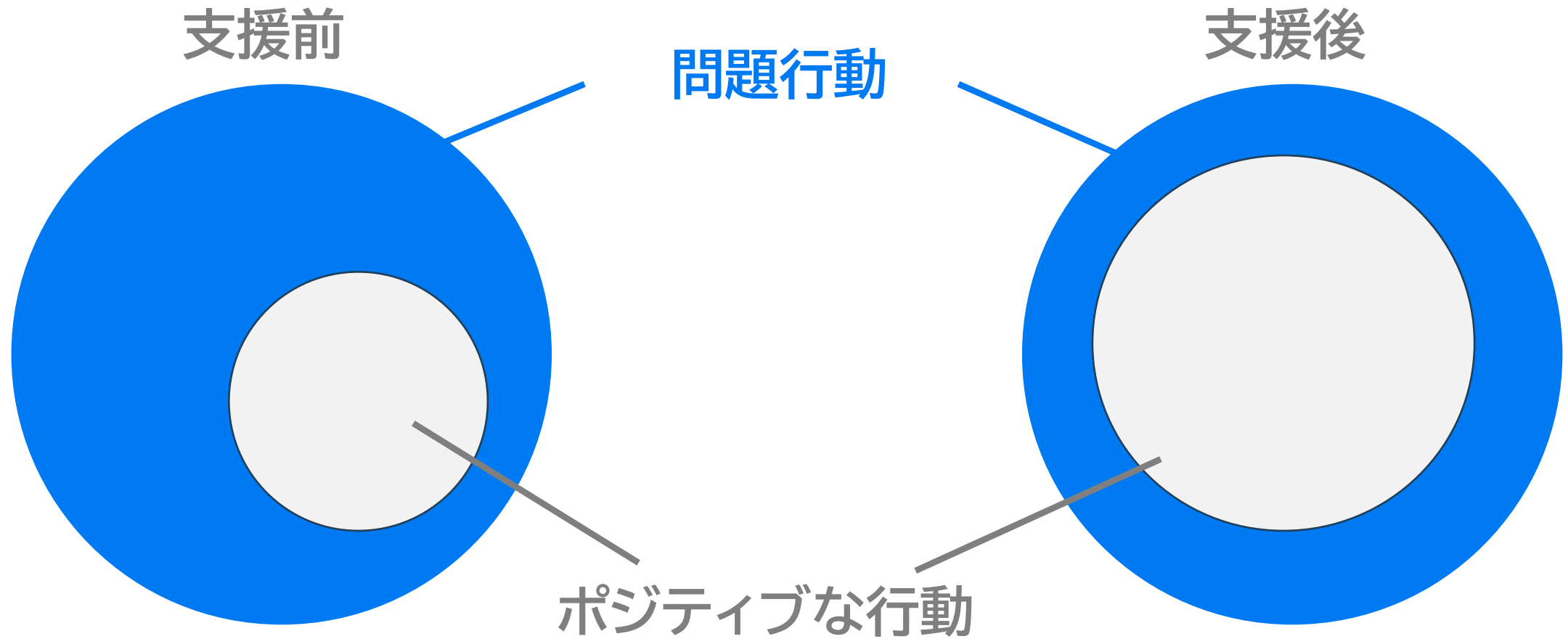
4.

データに基づく意思決定

問題行動（いつ・どこで・誰が）を記録・分析。データに基づいて指導計画や環境調整を行う。

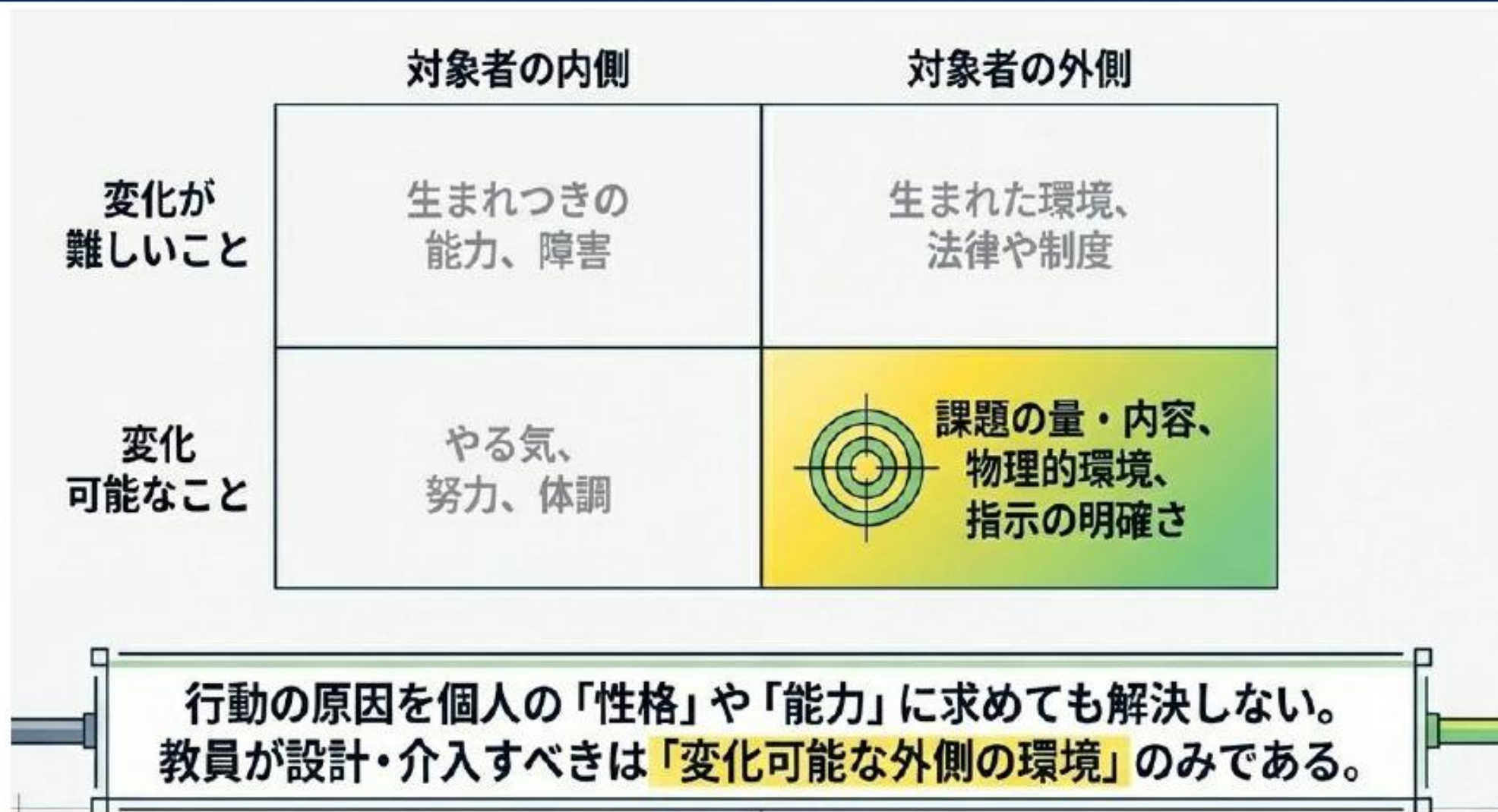


【心得1】ポジティブな行動を増やすことで、相対的に問題行動を減らす



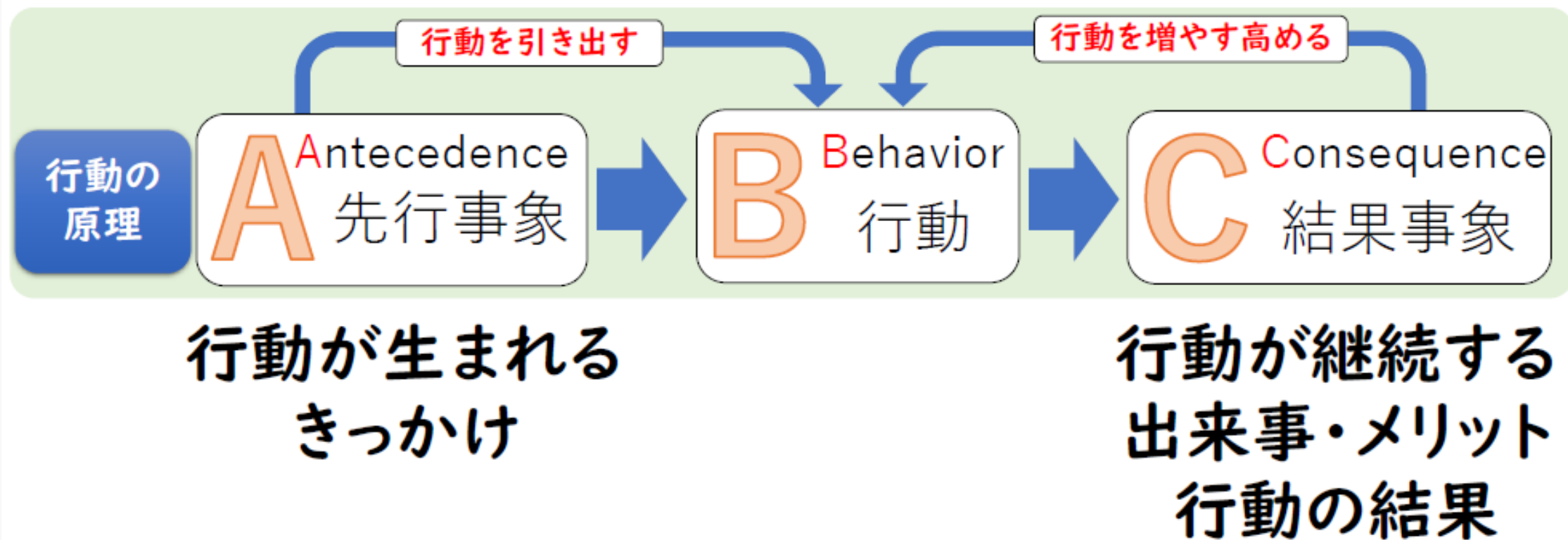
ポジティブな行動をしながら、問題行動はできない。

【心得2】 行動の原因を環境に求める（その人のせいにならない）

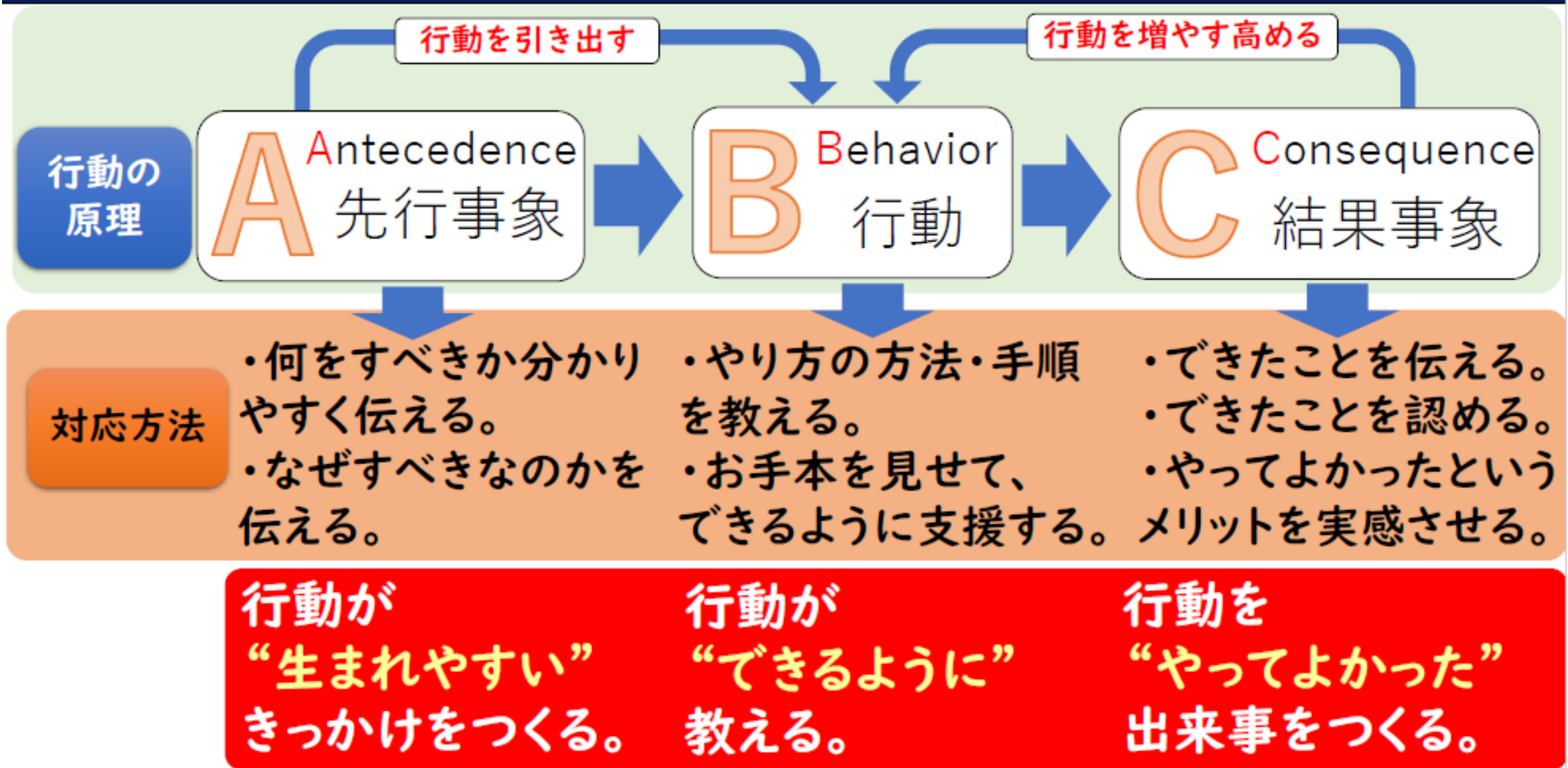


©yasunari matsuyama

【心得3】 行動の機能（ABCフレーム：行動随伴性）を整える



【心得3】 行動の機能（ABCフレーム：行動随伴性）を整える



今後の導入計画と展望



Step 1
5・6年生の意見を取り入れ
「望ましい行動表」を作成・決定。

Step 2
行動表の校内掲示。
全校生徒への周知。

Step 3
「肯定的フィードバックカード」の試行など、
スモールスタートで導入開始。

「安心の質」を高める組織的な取り組みを推進します。



学校教育目標



一人ひとりの個性や人権を尊重し、社会で生きていく力を育む



場面/価値観	自分のことを大切に	仲間を大切に	自立した態度を育む
登校時間 ・朝学習	<ul style="list-style-type: none"> 時間を守って登校し、安全に歩く。 宿題や道具の準備を自分で行き、朝学は静かに学習に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 低学年や周りのペースに合わせて歩き、班のみなが揃うように気をつける。 顔を見て挨拶をして、気持ちよく接する。 	<ul style="list-style-type: none"> 指示を待たずに自分で行動し、班長や副班長の役割を意識して列を整える。 朝学はルールやマナーを守って学習する。
準備時間	<ul style="list-style-type: none"> トイレや水分補給をして、授業中に体調を崩さないようにする。 自分の学習の準備を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 周りの人が準備できているかを見て声をかけ合い、助け合う。 静かに過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> チャイムが鳴る前に自分で準備を終える。 チャイムを座って聞く。
学習時間	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢を正して先生や友達の話をしっかり聞く。 自分の理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 話している人の方を向き静かに聴く。 友達の意見を大切にし、自分の考えも進んで伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> わからないことは自分で調べたり、先生や友達にたずねたりして解決する。
休み時間	<ul style="list-style-type: none"> 遊ぶ時間と準備の時間を意識して、時間内に切り替えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と譲り合いながら遊び、誰も困らないように気をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ルールを守り、廊下では走らない。 自分で考えて準備や遊びを切り替える。
給食時間	<ul style="list-style-type: none"> 自分が食べられる量を考えて無理なく食べ、時間内に食べ終わるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 作ってくれた人や給食当番に感謝し、残さず食べるようにする。 給食当番に並んで静かに行く。 	<ul style="list-style-type: none"> 給食当番の役割をしっかり行う。 食事のマナーを守る。
掃除時間	<ul style="list-style-type: none"> 担当場所を責任を持って掃除する。 作業の順序や手順を自分で考えて効率よく行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 周りの人が気持ちよく使えるように掃除する。 協力して全体をきれいにする 	<ul style="list-style-type: none"> 黙々と最後までやりきる。 細かいところまで気づき、自分で判断してプラスアルファの掃除をする。
移動時	<ul style="list-style-type: none"> 時間に間に合うように、自分の荷物や忘れ物を確認して移動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 静かに列を守って移動する。 先生や友達にすれ違うときは挨拶をして、気持ちよく過ごせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 静かに移動し、走らず右側を歩いてルールを守る。
タブレットの活用時	<ul style="list-style-type: none"> 授業や学習に必要なことだけに使う。 自分の理解を深めるために積極的にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 共有ノートやグループで使うときはルールを守り他の人の作業を邪魔しない。 次の人が使いやすいように丁寧に扱う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で使用の目的やタイミングを考えて、必要な時だけ正しく活用する。

今、氷室小学校がめざしているもの(生活面)

SWPBSの取組

くつをピカッとそろえよう! カレンダー

3つの
やくそく

1. くつをはきかえるときは、下ぐつや上ぐつをくつばこにいれるよ。
2. 全員のくつがくつばこに入っていたら、校長先生がシールをはるよ。
3. みんなで声をかけながら、全員ができるようにしよう!



「全員のくつがくつばこに入っていたら、わたしがシールをはるよ! がんばろう!」

月	火	水	木	金
				4月10日 
13日 	14日 	15日 	16日 	17日 
20日 	21日 	22日 	23日 	24日 
27日 	28日 	29日 	30日 	



令和8年度 学校教育目

標 一人ひとりの個性や人権を尊重し、社会で生きていく力を育む

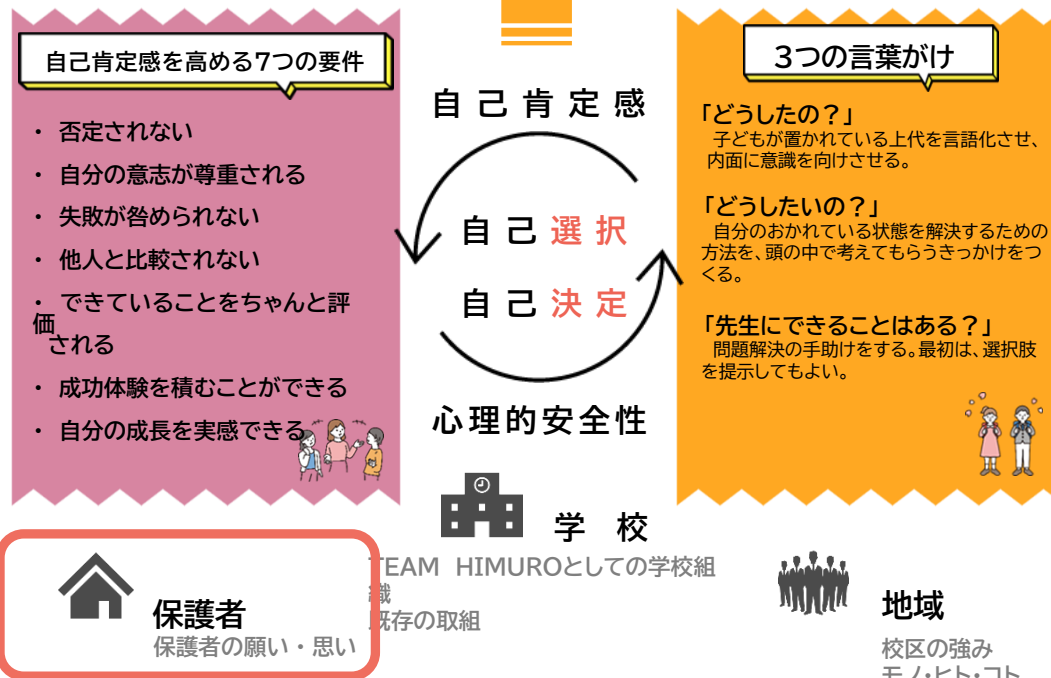
学校経営方針

子どもの主体性を第一に考え、子どもが選び、子どもが決め、子どもと共に創る学校

めざす学校像



- (1)他者と協働しながら、自立して学べる子どもを育む学校【校内研究の充実】
- (2)心理的安全性が高く、一人ひとりの自己肯定感を高める学校【SWPBSの実装】
- (3)一人ひとりの個性や人権が尊重され、主体性を大切にした学校【SWPBSの実装】
- (4)一人ひとりの挑戦する心や自己決定する場面を尊重し、自己肯定感を高める学校【SWPBSの実装】
- (5)全教職員が「TEAM HIMURO」として、学校教育の全てに携わる学校
- (6)地域の特性を学校教育に活かし、地域と歩む学校
- (7)保護者との連携を大切にし、協力・協働しながら共に教育を行っていく学校【SWPBSの実装】



～TEAM HIMURO～

学校が立てた目標について、保護者の方にもご理解いただき、
学校と保護者が「子どもをよりよく育てる」という共通目標の
もと横並びとなり、同じ方向性をもって、保護者の方と協力し
ながら子どもたちを育てていきたい

参考資料・引用元(ページに記載がないもの)

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教育課程企画室長

栗山 和大氏

「令和7年度 大阪府小学校校長会資料」

文部科学省

「学習指導要領 論点整理」



氷室小学校ブログ